令和８年度国産化粧品原料の実需・供給条件調査業務委託に係るプロポーザル評価基準

項番	大項目	中項目	評価基準	配点	合計
1	総合	事業目的の理解	・買い手の需要を把握し、県内の供給条件を踏まえて候補素材と次年度の課題を整理する目的を理解しているか。 ・仕様書で求める事項が提案に含まれ、予算・期間内で実施できる内容か。	10	10
2	企画内容に対する評価	実施手順の妥当性	・情報源、候補素材の抽出方法及び整理項目が具体的で、幅広い候補の把握につながるか。 ・メーカー、OEM・ODM、原料メーカー・商社等の役割を踏まえた対象構成が適切か。 ・数量、価格帯、規格、納品形態等の採用条件を、回答可能な範囲で把握できる方法か。 ・実需と県内の供給可能性を踏まえ、県と協議して重点５品目を選定する方法が適切か。	15	25
3		調査結果の整理・成果の実用性	・実需者の条件と県内の状況を踏まえ、取組むべき事項が分かりやすく整理されているか。 ・県が再利用しやすい報告書・データが作成された提案か。	10	
4	業務遂行能力	体制	・円滑な事業遂行のための人員の確保や運営体制の構築がなされているか。 ・類似業務の実績がある等、業務遂行能力のある統括責任者を配置しているか。 ・本業務遂行にあたり有効な幅広いネットワークを有しているか。	20	45
5		スケジュール	・準備から実施にかけて実行可能なスケジュールとなっているか。	10	
6		業務実績	・過去、同種事業の企画運営に対する実績を有しているか。 ・その実績は本業務を遂行するにあたって有利なものか。	15	
7	予算	見積額	・事業経費の配分は適切であるか。 ・経費の積算は、内容に対して妥当か。	15	15
8	地域経済活性	ローカル発注	・県内に本社又は支店を有する企業（県内企業）であるか。 ・上記の県内企業が構成員に含まれているか。 ※いずれかを満たす場合の評価は５点、いずれも満たさない場合は０点とする。	5	5
総計				100	100

※最低基準点は6割（100点×60％＝60点）とする。